

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年5月15日

事業所名 こども発達支援センターあすいろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	2			
	2	職員の配置数は適切である	10	2			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	4		ケース会議やモニタリング会議で前もってやろうとしている	モニタリング会議終了後はその内容をスタッフ全員で周知できるように情報の共有を行っている。問題点課題を明らかにし職員間で同じ問題意識をもって支援ができるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	6		8月オープンのため未実施 8月開所のため今回が初めての評価表実施	今回が初回の自己評価であった。この結果から職員間での周知が不十分である点や、ニーズがつかめてきたので、今後の運営に生かしていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	8	2	今回初めてのためまだ公開していない	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	5	1	中部保健所の職員が来て指導を受けた	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	2		クリニックと連携し研修会で行う	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	2			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	3			保育士が中心となって活動プログラムを立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	2		細分化して各専門的部門での多角的視点で計画している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	4		できる日とできない日があり必ずとまではないかない 遅番で朝礼に参加で	開始前には必ず当日の利用児の確認、支援の注意事項、役割分担についてミーティングを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	7		日を改めて確認している 気づきを共有できる時間を確保できるように努め	利用記録を書き終えた後は、翌日の打ち合わせ、その日の支援の振り返りを行い情報共有に努めている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	2			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	3		今後も適宜ガイドラインに立ち寄り活動内容の見直		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	2			会議前には職員間で情報収集を行い、利用時の担当者と面談し、現在の利用者の現状、問題点を明らかにし、会議資料を作成して出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	1		学校のスクリーンにも登録し、スムーズに学校からの情報をキャッチできるようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	3			医療的ケア児の受け入れに当たっては主治医の指示書、医療的ケア児のスコア票の記入を求めている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	2			就学・就園児にはサポートブックを作成し、進学先でも情報を共有できるように協力と相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	2		該当者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	1		他市町村の支援センターと連携している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	11	1		同じ施設内にある児童館に来館する児童とドッチボールなどを楽しんでいる	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	10	2			自治会、児童館との協議会に参加して、地域の問題や行事、子ども食堂居場所支援などの活動にも協力を求め情報共有をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	1		写真なども通して保護者に活動の様子を伝えるよう工夫している。	
保護者へ	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	12				昨年度はペアレントプログラムを6回行い、保護者と職員で相互理解を図るとともに子どもへのかかわり方とともに頑張っているお母さんへの評価の必要性を再認識した。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	2			契約時には重要事項説明書、運営規定などについて説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	1		ペアプロでは連携しているが、今後開催予定	モニタリング会議では保護者の困り感に対して関係機関で助言を行っている。親子通所の際は、各専門職種に対する質問の機会を設け、保護者の子育てに対する不安感への軽減に努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	4		父母会などの開催を計画している段階	令和5年5月より保護者懇談会を開催予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	2			利用者からの質問、面談の希望があった際にはすぐに対応し、管理者と面談を行っている。改善点があれば改善し、利用者様保護者様が安心して過ごせるように配慮している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 説 明 責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	2			行事予定やプログラム、献立表などを連絡サイトで公開しているが、知らない職員もいたので周知していきたい。また連絡サイトを使っていない利用保護者さまもいるので、事業所に掲示する以外に、お知らせを紙媒体でも配布していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	12				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	1			毎日の活動の記録には写真を添えられるときは添えて活動の内容をわかりやすく報告するとともに、紙媒体での連絡帳もニーズに合わせて活用して情報を共有できるように配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	5	1	今後地域の方と連携を図っていく	今後こどもステーション祭などを開催する予定、公民館、児童館、自治会の皆様と協力して顔の知った関係を作り情報共有に努めてきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	3			各マニュアルを作成しているが、職員や保護者への周知はされていなかったため周知できるように改善したい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12				年に2回以上、支援センターだけではなく、建物全体での避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	2			入職時に全職員に虐待に関する初期研修は受けてもらっているが、定期的に行っていくよう虐待防止委員会で検討した。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	4			身体拘束についての事業所の指針は契約時に説明していたが、さらに個別支援計画にも明記し、職員にも周知できるように改善した。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	7		保護者と連携して対応している	保育所におけるアレルギー対応ガイドラインに沿ってアレルギー疾患生活管理指導票を食物アレルギーがあると申告した利用者に提出を求めるよう改善した。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	1			ヒヤリハット事例集をいつでも手の届くところに置いて、見返すことができるようにしている。ヒヤリハット事例が起こったときは、その原因や対策を協議するとともに、再度起こらないように職員間で情報を共有している。